

1 日(土)「くらもちウォークラリー大会」が開催されました。今年は 41 チーム、148 名の参加があり、皆さん元気に里のコミュニティセンターを出発しました。

今回は「変わりゆく里めぐり」と題して、里周辺 約 3.9 km を皆さん太陽を浴びながら元気に歩いて楽しまれました。



1 1月6日(木)、蔵持小学校4年生35名が参加して、蔵持市民センターで「防災体験学習」を行いました。

初めに防災部長の坪田さんから防災の大切さについて話をしてもらいました。

その後、災害に備えて保管している非常用発電機、投光器、照明器具、大型の扇風機を実際に動かして使い方を教えてもらいました。

また、災害時の重要な通信手段となる防災無線で名張消防署や名張警察署との通話を体験しました。

三瀬センター長からは「蔵清水の井戸」の災害時の役割について教えてもらい、実際に手押しポンプで水を汲み上げたり、冷たい井戸水を飲んだりして井戸の体験をしていました。

最後に、全員で防災テントを組み立てて避難所での体験学習が終わりました。



みんなで備える！名張市防災訓練開催📢

11月15日(土)、名張市防災訓練があり、南海トラフ地震を想定した防災訓練が行われました。蔵持市民センターには「蔵持地域災害対策本部」が設置され、各区や自治会で安否確認や車椅子を実際に使った訓練、防災無線やトランシーバーを使った通信訓練など行われました。



訓練を終えたセンター長

今年は広範囲でほぼ1日続いた断水もあり、改めて水や電気、通信などの備えの大切さを実感しました。災害はいつ起こるかわからないからこそ、年末年始の家の整理を兼ねて非常用品を見直したり、備蓄を確認したりすることが安心につながります。今回の体験学習や防災訓練で得た学びを活かし、地域全体で日ごろから備えを整えていきたいですね。